

直播水稻専用初期除草剤

カイシMF[®]

1キロ粒剤

カイシようばじめよ

メタミホップ配合



高葉齢のノビエに!

農林水産省登録 第24443号



は種時同時処理可能



無人航空機による散布



® は科研製薬(株)の登録商標



科研製薬株式会社

直播水稻専用初期除草剤

メタミホップ配合



カイシMF

1キロ粒剤

農林水産省登録 第24443号
 ベンゾピシクロン 2.0%
 メタミホップ 0.23%
 包装規格 1kg × 12袋

人畜毒性: 普通物*

*「毒物及び劇物取締法」(厚生労働省)に基づく特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

特長

- 1 直播水稻専用初期除草剤です。(直播水稻に高い安全性)
- 2 は種時同時散布機、無人航空機による散布が可能です。
- 3 ノビエ2.5葉期まで高い除草効果を示します。
- 4 SU抵抗性雑草に有効(ホタルイ、コナギ)

■ 適用雑草と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	総使用回数*	使用方法
直播水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミスガヤツリ ウリカワ ヘラオモダカ ヒルムシロ	は種時	1kg/10a	本剤: 1回 ベンゾピシクロン: 3回 メタミホップ: 3回 (乳剤及び液剤は合計2回)	は種同時 散布機で施用
		湛水直播の は種直後~ ノビエ2.5葉期 但し、 収穫60日前まで			湛水散布 又は 無人航空機 による散布

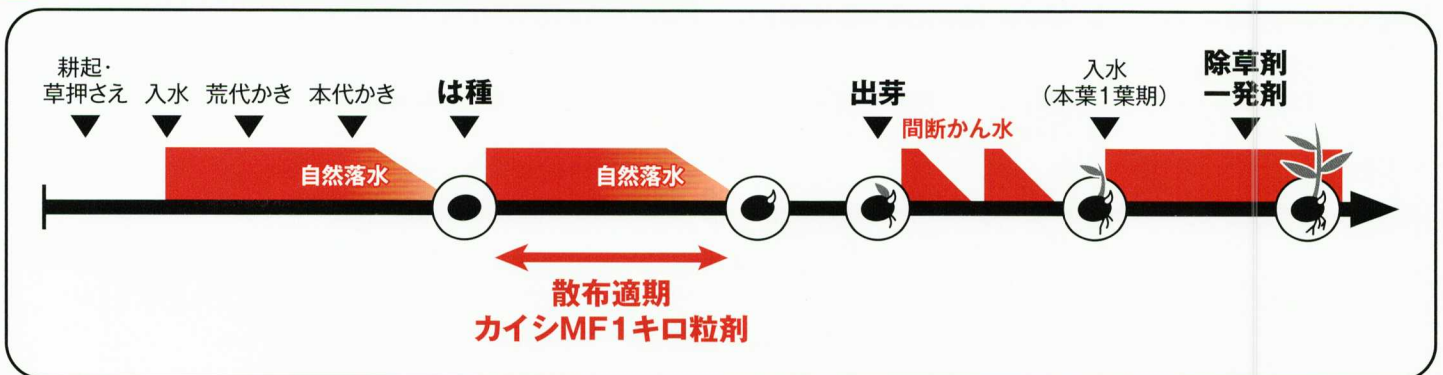
*印は収穫物への残留回避のため、本剤及びそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

■ 各種雑草の散布適期

雑草名	適用葉齢
ノビエ	2.5葉期
ホタルイ	3葉期
ミスガヤツリ	7cm
ウリカワ	発生始期
ヘラオモダカ	
ヒルムシロ	

2018~2019年度(公財)日本植物調節剤研究協会(以下、日植調)における適2試験より有効と認められた最大葉齢を記載。

■ 散布時期例(試験場所: 日植防 広島、は種方法: 点播)



⚠ 効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ秤量し、使いきる。
- 本剤は雑草の発生前から発生初期に有効なので、ノビエの2.5葉期までに時期を失しないように散布する。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にフレが出るので、必ず適期に散布するように注意する。
ホタルイは3葉期まで、ミスガヤツリは7cmまで、ウリカワ、ヒルムシロ、ヘラオモダカは発生始期までが本剤の散布適期である。
- 後処理剤との体系で使用し、雑草の発生状況をよく確認し、時期を失しないように散布する。
- 散布に当たっては、水の出入りを止めて湛水状態のまま本剤を田面に均一に散布し、散布後少なくとも3~4日間は通常の湛水状態(水深3~5cm程度)を保ち、田面を露出させたり、水を切らしたりしないように注意し、また、散布後7日間は落水、かけ流しはしない。
- 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は、次の注意を守る。
① 散布は使用機種の使用基準に従って実施する。
② 散布に当たっては散布機種に適合した散布装置を使用する。
- ③ 事前に薬剤の物理性に合わせて散布装置のメタリング開度を調整する。
- ④ 散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、散布装置のインペラの回転数を調整し、ほ場の端から5m以上離れた位置からほ場内に散布する。
- ⑤ 水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないように十分注意する。
- 砂質土壌の水田及び漏水田(減水深2cm/日以上)では、初期生育抑制を生じるおそれがあるので使用をさける。
- 本剤はいくさの生育を阻害するおそれがあるので、いくさの生育期に隣接田で使用する場合は十分注意する。
- いくさ栽培予定水田では使用しない。
- 強風時の散布はさける。
- 本剤散布後の田面水を他作物に灌水しない。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合や異常気象時は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

● 使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ● ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ● 本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

この資料は2021年8月25日現在の登録内容に基づいたものです。



科研製薬株式会社
 東京都文京区本駒込2丁目28-8
<http://www.kaken.co.jp>

KMG/INF/001